

全国中学ハンド

# 「堅守速攻」男女で圧倒



「堅守速攻」で男女V。28日に富山県であったハンドボールの第13回春の全国中学生選手権大会で男子神森女子美東がそれぞれ初優勝を成し遂げた。堅い守りから素早く攻撃につなげて相手を圧倒する、県勢がこれまで培ってきたスタイルを全国の舞台で体現した。両チームは、これからの新たな目標に掲げた全国大会での「春夏連覇」を目指していく。(一面参照)

▽男子準決勝  
神 森 37 (1819) 水見北部 (富山)  
神 森 31 (1813) 霧島ク (鹿兒島)

▽女子準決勝  
美 東 17 (107) 霧島ク (鹿兒島)  
美 東 17 (107) 霧島ク (鹿兒島)

▽同決勝  
美 東 24 (1113) 三郷北 (埼玉)  
美 東 24 (1113) 三郷北 (埼玉)

## 神森 後半攻め連動

男子決勝は神森が霧島クラブ(鹿兒島)を31-22で破り、全国の頂に登り詰めた。同日の連戦もなんのその疲れを吹き飛ばし「神森らしさ」を貫いた。

前半は13-10で3点リードしたが、決勝の大舞台ということもあり、序盤は浮足立った。「気持ち落ち着かず、集中し切れていなかった」と屋良徹監督。後半に入る前に「やることをやれば大丈夫。気持ちをリセットして頑張ろう」と奮起を促した。

一線ディフェンスを敷く相手に、攻撃で足を動かした。「一個」の力だけでなく、別の選手がおりとなるプレーなど連動した速い攻めで一気に突き放した。

指揮官は「一戦一戦で成長した。勝つために何をすべきかを自分たちで考えてくれた。伊禮颯雅主将は「一人一人が前に出て、ノーマークの選手を生かすことができた」と胸を張り「夏は冠目を取りに行く。うれしいけど、また頑張る」と決意を新たに示した。



シュートを放つ神森の伊禮颯雅(富山県水見市(スポーツイベント)・ハンドボール提供)

## 美東 GK好守で勢い

女子決勝で美東は三郷市立北(埼玉)を24-20で破り、うれしい初優勝を飾った。平良徳彦監督は「しっかり守り、キーパーと連携して速攻を展開する自分たちのハンドボールができた」と満足の言葉で振り返った。

決勝では三郷北の2枚のロングシューターを警戒。選手たちが手を広げてシュートコースを限定させると、主将でGKの比嘉楓が「相手の動きを見極めて、我慢して動けた」と好セーブを連発し、チームを勢いづかせた。

さらには「攻撃の起点(平良監督)と信頼を寄せる金城菜々が躍動。積極的に空いたスペースを突いてゴールを狙い、決勝だけで10得点。指揮官も「試合を楽にしてくれた」とたたえた。

大会前の抱負で「夢」としていた全国制覇をかなえた。比嘉主将は「これで全国から追われる立場になった。沖縄に帰って、一から練習をやり直し、また頂点を取れるよう頑張りたい」と気を引き締めた。

10得点と活躍した美東の金城菜々子(富山県水見市(スポーツイベント)・ハンドボール提供)